



学校生活アンケートの結果より！

令和2年も残すところあと一か月となりました。保護者の皆様方におかれましては、日頃から感染症防止対策にご協力いただき、誠にありがとうございます。しかし、新型コロナウイルス感染症が11月に入り急激な拡大傾向にあり、予断を許さない状況になっております。引き続き十分な対策とともに、皆様方のご健康にご留意いただきますようよろしくお願ひします。

さて、10月に実施しました「令和2年度 学校生活アンケート」(低学年・高学年・保護者)の結果から見えてきた児童たちの学校生活の状況をお伝えします。アンケート結果全項目については※別紙1～3でご覧ください。

R2学校生活アンケート10月

- 低学年 R2
- ※ 低学年 R1
- 高学年 R2
- ※ 高学年 R1



左のグラフは、肯定的な回答の数値のみをまとめ、昨年度と比較して示しています。昨年度と比較して、特に高学年の数値が全体的にアップし、コロナ禍において高学年として低学年のお手本にならなければならないという、前向きな意識が結果に表れているように感じています。また、低学年は高学年に比べて、ほとんどの項目において、同じくらいか、または上回り、全体的に見ると良好な学校生活の状況となっています。

【特に数値が上がった項目】は、高学年の「元気よくあいさつできる」が14ポイント、「自分の考えを言ったり書いたりすることができる」が16ポイント、「困っている友だちがいたら進んで助けることができる」が9ポイント増加しました。高学年としての自覚と責任が高まりつつあり、思いやりをもって人間関係を築く気持ちが育ってきていると考えられます。また、全学年児童とも、授業を通して自分の考えを持つことができるようになってきています。さらに、高学年の「自分には良いところや得意なことがある」が10ポイント増加したこと、「先生はがんばりを認めてくれる」が11ポイント増加したことは、両者の項目が連動し、自尊心が高まっていると捉えることができます。

【特に数値が下がった項目】は、低学年の「早寝、早起きをしている」が7ポイント減少したこと、「英語の学習は楽しい」が低学年8ポイント、高学年10ポイント減少したことです。「早寝・早起き」については、学校の臨時休業中に熱中したゲームが、いまだに影響があるのかもわかりませんが、基本的な生活習慣の確立が課題です。ゲームやネット依存にならないように家庭内のルールも見直し、健康的な日常生活を過ごせるようにしましょう。また、今年度より新学習指導要領が全面実施となり、5・6年生は週1回の外国語活動から週2回の教科としての英語が始まりました。Englishタイムを含め、英語の学習が楽しく充実した学びになるよう、学校としても創意工夫に重点をおいて取り組んでいきます。

最後に、お忙しい中、保護者のアンケートも実施していただき、ありがとうございました。保護者アンケートからは、特に「子どもは家庭で学習する習慣が身についている」が、今年度も昨年度と同様、他の項目と比較して低く73%という結果でした。授業ではある程度理解できても、その後、家庭で自分から復習しなければ基礎学力は定着しにくく、具体的な結果につながらないので。自主的な家庭学習は学力向上のカギとなりますので、励ましの言葉がけをよろしくお願ひいたします。

以上、学校生活アンケート結果は、これが全てではなくある側面から見た子どもたちの全体的な姿です。一人一人に焦点を当てて、丁寧な支援を学校と家庭で連携・協力してすすめていきましょう。